

令和元年11月13日  
(2019年)

保護者の皆さまへ

吹田市立南山田小学校  
校長 江下 毅

## 平成31年度 全国学力・学習状況調査結果の分析について

本年4月、6年生を対象として「平成31年度 全国学力・学習状況調査」を実施し、9月中旬には個人ごとに結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

### 『平成31年度 全国学力・学習状況調査』とは…

#### ①教科に関する調査(国語・算数)

・両教科において、以下の(ア)(イ)を一体的に出題。

(ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

(イ)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

#### ②生活習慣や学習環境等に関する調査(質問紙調査)

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアンケート調査です。

本調査は小学校最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数と理科に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを先ず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に取り組むことが調査本来のねらいであると考えます。

学校としましては、調査結果を客観的且つ組織的に分析することにより、どのような指導がより効果的であるかをしっかりと見極め、学校全体あるいは小・中学校における連続した取組みとなるよう、具体的な指導方法の工夫改善を図ってまいります。

ご家庭におかれましても、以下の分析結果を今後の家庭学習の指針としてご理解のうえ、参考にしていただきますようお願いいたします。

### I. 教科に関する調査

#### 概要

**国語** ◎平均正答率が全国値を上回っています



**算数** ◎A問題 は平均正答率が全国値を上回っています



B問題 は平均正答率が全国値を上回っています



◎国語、算数において平均正答率が全国値を上回りました。 

## 成果と課題、今後の改善策

### 国語

#### 成果

##### 書くこと

図表やグラフの効果を捉えることや相手により分かりやすく伝えるための工夫を捉えることができています。

##### 読むこと

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確に読む問題で全国値を上回っています。

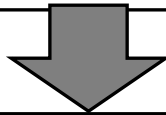
##### 言語

漢字を文の中で正しく使う問題で全国値を上回りました。また、ことわざに関する問題も全国値より上回っています。

#### 課題

##### 話す・聞くこと

話し手の意図を捉えながら聞くことや、聞いたことをもとに自分の考えを形成することの正答率が全国値を下回っています。



#### 改善策

- ・ 必要な情報を取り出す力や、取り出した情報を活用する力をつけられるように単元の構成を考え、授業改善を行っていきます。
- ・ 自分の考えと友だちの考えを比較する場面を授業の中で取り入れていきます。

### 算数

#### 成果

ほとんどの問題で平均正答率が全国値を上回っています。

記述式の全ての問題において、無回答率が全国値を下回っています。また、いくつかの記述式問題では、正答率が全国値を大幅に上回っています。

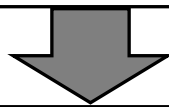
普段の授業で自分の考えや振り返りを書く取り組みを継続してきたことが、このような結果につながっていると考えています。

#### 課題

減法の計算の仕方についてまとめたことを参考にして、除法の計算の仕方についてまとめるようになるかを書く問題の正答率がわずかに全国値を下回っています。

選択式の問題(2問)で無回答率が全国値を上回っています。

また、記述式問題には意欲的に取り組めていますが、記述内容が正答に満たない場合が多いようです。



#### 改善策

- ・ 文章を書く学習(自分の考えやふりかえり、まとめなど)を、何が書けていけばよいのかの基準を提示したり、書き方のモデルを示したりしていきます。
- ・ 間違っていたとしても自分の考えを書いたり、発表したりする意欲を認め、前向きに課題に取り組むことのできる雰囲気づくりに取り組みます。

## Ⅱ. 学習意欲や学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査の傾向

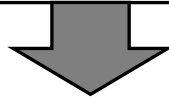
### 学習環境・生活環境について

#### 成果

- ・「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれている」「学校は楽しい」の項目で全国値よりも上回っています。
- ・「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」という項目で、全国値よりも上回っています。
- ・「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、解決方法を決めている」「学級での話し合いを生かして、自分が努力することを決めて取り組んでいる」の項目で全国値よりも上回っています。

#### 課題

- ・「人が困っているときに進んで助けている」「学級で決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」という項目で全国値を下回っています。
- ・「地域行事への参加経験があると回答した児童が少なく、「地域や社会をよくするためにできることを考えることがある」の項目では、全国値を下回っています。
- ・「外国の人と知り合いになったり、外国のことをもっと知りたい」「日本や自分の地域のことを外国の人に知ってほしい」との項目で全国値より下回っていました。



#### 改善策

- ・児童の自己肯定感を高め、安心して学校生活を送ることができるような環境づくりに引き続き取り組むとともに、学級で話し合う機会を持ち、仲間と協力し、助け合える**集団づくり**の取り組みを進めていきます。
- ・外国語活動等を通して、異国の文化を学習したり体験したりする**国際理解の取り組み**を大切にしていきます。

### 教科・学習について

#### 成果

- ・「国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしている」「国語の授業で自分の考えを、うまく伝えるように話や文章の組み立てを工夫している」と答えた児童の数は全国値を上回っています。
- ・「算数の問題がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えている」という項目で全国値を上回っています。

#### 課題

- ・「算数が好き」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」の項目で全国値を下回っています。
- ・「家で計画を立てて勉強している」の項目で全国値を下回っています。



#### 改善策

- ・表現する力と紡ぎあう力をもった子どもの育成を目指し、自分の考えを伝え、高め合っていく取り組みを続けていきます。
- ・算数の学習は身近なものを教材にとり入れながら、学習したことが日常生活で活用できると感じることができるよう取り組みをしていきます。
- ・子どもたちが自主的に計画を立てて学習に取り組めるように、学校で課題に取り組むときにはゴールまでの見通しを持たせ、計画的に取り組む経験が積めるようにします。

### Ⅲ. 学校教育目標、努力目標委員会研究主題と調査結果の関係

#### 学校教育目標

## 心を磨き、志を育む ～その根を培う～

### —調査結果から見える南山田小の子どもたち—

#### ① 自ら学び考える【意欲的・主体的に学ぶ子ども】

- ◎話し合い活動で、相手の話を最後まで聞き、その考えを受け止めて自分の考えをもつ。授業で学んだことを他の学習や普段の生活で生かす。
- 算数の授業で新しい問題に「解いてみたい」と思い、諦めず色々な方法で考える。
- △自分の考えや意見を発表することが得意である。家で計画を立て勉強（予習復習）をする。

#### ② なかまを思いやる

##### 【違いを認め合い、豊かな人間関係を築く子ども】

- ◎学校で友だちと会うのは楽しい。いじめはどんな理由があってもいけない。人が困っているとき進んで助ける。
- △話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かし、折り合いをつけて話し合い、意見をまとめる。



#### ③ 自分を大切にする

##### 【自尊感情と豊かな感性を持ち、たくましく生きる子ども】

- ◎自分にはよいところがある。先生はよい所を認めてくれている。将来の夢や目標をもっている。人の役に立つ人間になりたい。読書が好き。好きな授業がある。
- △家の人と将来のことについて話す。

#### ④ こころ豊かな【進んで協力し、実行力のある子ども】 **みな小っこ**

- ◎学校でみんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある。ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。
- 難しいことでも失敗を恐れず、挑戦している。友だちとの約束、学校のきまりを守る。

◎：全国値を上回っている △：全国値を下回っている

◆近頃、友だちと戯れながら、朝よりの爽やかに笑顔で下校をしていくたくさんの姿を目にうれしくなりました。

これからも全ての教育活動で児童が安心して、『明日も学校が楽しみ！』と、思う学校づくりに全教職員で取り組みます。また、ご家庭での生活習慣や家族との繋がりが児童の健全な育成に尽力していることも伺えました。今回の調査の結果を踏まえ、「ほめる、笑う、しかる」を”愛”言葉に家庭が安らぎの場であり、学校と家庭がともに「子どもにとってどうすることが一番よいのか」を考えていくことを大切にして、大切な宝物と一緒に育ていきたいと考えています。今後とも、ご協力よろしくお願い致します。

#### 努力目標委員会研究主題

### 自ら考え、紡ぎあい、深い学びへつながる授業作り

国語科の物語文の学習における「主体的・対話的で深い学び」とは自分の考え・読みをつくらうと、自ら言葉と関わり、それを仲間に分かってもらおうと話し伝え、仲間の考え・読みを受け取ろうと聞く子どもを育てることと考えています。。これは、本校の児童に身につけさせたい力と大いにつながります。また、自分の考え・読みをつくるためには、物語文の読みの技能（構造と内容の把握、精査・解釈）を身につけさせることが大切です。そこで、本年度からは、それらの技能を学ぶことで主体的に問い、解決するために、考えを仲間と紡ぎあい、さらに自らの考えを深める子どもの育成を目指し、研究主題を「自ら考え、紡ぎあい、深い学びをつくる授業づくり」と設定しました。